

研究機関名：下関市立市民病院

研究課題名：

心不全患者における入院関連嚥下機能低下（Hospital-Associated Dysphagia）と生命予後の関連性に対する身体機能の影響

研究期間：2025 年 8 月 1 日～2026 年 3 月 22 日

対象材料：

☐ 病理材料（対象臓器名： ）

☐ 生検材料（対象臓器名 ）

☐ 血液材料

☐ 遊離細胞

■ その他（診療録 ）

上記材料の採取期間：2023 年 3 月 ～ 2025 年 3 月

意義：

心不全患者における嚥下障害は 9.4～36.2%に認められ、日常生活動作（Activities of Daily Living：ADL）の低下や死亡率の上昇と関連することが報告されている。近年、入院に起因する ADL や身体機能の低下として定義される入院関連能力低下（Hospitalization-Associated Dysphagia：HAD）という概念が注目されている。HAD の一側面として、入院前よりも嚥下機能が低下した状態で退院に至る入院関連嚥下機能低下（Hospital-Associated Dysphagia）が想定され、我々は心不全患者における Hospital-Associated Dysphagia が生命予後の独立したリスクであることを示した。しかし、生命予後との関連性に対する身体機能の影響は十分に検討されていない。

目的：

心不全患者における Hospital-Associated Dysphagia と生命予後との関連性に対する身体機能の影響を明らかにすること。

方法：

当院の患者データベースおよび電子カルテより後方視的に通常診療の範囲内で得られる患者基本情報や医学的情報、治療経過、リハビリテーション経過、退院時の身体機能評価、退院時の内服薬、予後イベントの有無（全死亡死因）を診療録により収集する。

個人情報の取り扱い：

患者様の個人情報は、個人を特定できる情報とは切り離した上で使用する。また、研究成果を理学療法関連学会で発表するが、患者様個人を特定できる個人情報は含まない。

問い合わせ・苦情等の窓口：

〒750－8520

山口県下関市向洋町一丁目13番1号

下関市立市民病院 リハビリテーション部 月城 一志

TEL 083－231－4111 FAX 083－224－3838